

議 事 日 程 第 1 号

令和6年8月2日(金) 午前10時開議

日程第1 会議録署名議員の指名

日程第2 会期の決定

日程第3 議第100号 令和6年度米沢市一般会計補正予算(第3号)

本日の会議に付した事件

議事日程第1号と同じ

出欠議員氏名

出席議員(24名)

1番	佐野洋平	議員	2番	成澤和音	議員
3番	高橋千夏	議員	4番	関谷幸子	議員
5番	高橋英夫	議員	6番	高橋壽	議員
7番	小久保広信	議員	8番	影澤政夫	議員
9番	山村明	議員	10番	堤郁雄	議員
11番	植松美穂	議員	12番	古山悠生	議員
13番	島貫宏幸	議員	14番	木村芳浩	議員
15番	相田克平	議員	16番	遠藤隆一	議員
17番	太田克典	議員	18番	我妻徳雄	議員
19番	山田富佐子	議員	20番	佐藤弘司	議員
21番	鳥海隆太	議員	22番	島軒純一	議員
23番	齋藤千恵子	議員	24番	工藤正雄	議員

欠席議員(なし)

出席要求による出席者職氏名

市 長	近 藤 洋 介	総 務 部 長	神 保 朋 之
企画調整部長	遠 藤 直 樹	市民環境部長	佐 藤 明 彦
健康福祉部長	山 口 恵美子	産 業 部 長	安 部 晃 市
建 設 部 長	吉 田 晋 平	会 計 管 理 者	本 間 加代子
総 務 課 長	高 橋 貞 義	財 政 課 長	土 田 淳
政策企画課長	伊 藤 尊 史		

出席した事務局職員職氏名

事 務 局 長	栗 林 美佐子	事 務 局 次 長	細 谷 晃
議事調査主査	曾 根 浩 司	主 任	齋 藤 舞 有
主 任	佐 藤 丈 史		

午前10時00分 開会・開議

○相田克平議長 おはようございます。

ただいまの出席議員24名であります。

去る7月26日招集告示されました令和6年8月臨時会はここに成立いたしました。

ただいまから令和6年米沢市議会8月臨時会を開会いたします。

直ちに本日の会議を開きます。

本日の会議は議事日程第1号により進めます。

.....

日程第1 会議録署名議員の指名

○相田克平議長 日程第1、会議録署名議員の指名であります。会議規則第88条の規定により指名いたします。

1番 佐野洋平議員

12番 古山悠生議員

17番 太田克典議員

以上3名の方をお願いいたします。

.....

日程第2 会期の決定

○相田克平議長 次に、日程第2、会期の決定を議題といたします。

お諮りいたします。

本臨時会の会期を本日1日間と定めたいと存じますが、御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○相田克平議長 御異議なしと認めます。

よって、本臨時会の会期は本日1日間と決定いたしました。

.....

日程第3 議第100号令和6年度米沢市 一般会計補正予算（第3号）

○相田克平議長 次に、日程第3、議第100号令和6年度米沢市一般会計補正予算（第3号）を議題といたします。

この場合、市長から提案理由の説明を求めます。
近藤市長。

〔近藤洋介市長登壇〕

○近藤洋介市長 ただいま上程になりました議第100号令和6年度米沢市一般会計補正予算（第3号）について説明いたします。

本案は、新型コロナウイルスワクチンの定期接種の実施に要する経費として、緊急に補正を必要とする事業費1億4,838万6,000円を増額補正しようとするものであり、この結果、補正前と合わせた一般会計の予算総額は444億6,694万3,000円になります。

これに伴う財源といたしましては、特定財源として、諸収入を増額補正するほか、一般財源として、財政調整基金繰入金を増額補正しようとするものであります。

よろしく御審議の上、御賛同賜りますようお願い申し上げます。

○相田克平議長 ただいまの市長説明に対し、御質疑ありませんか。21番鳥海隆太議員。

○21番（鳥海隆太議員） ワクチンの追加接種というようなこととあります。さきの市政協議会でも若干説明いただきました。私からはもう少し確認をさせていただきたいと、このように思います。

このワクチンなのですが、JN.1系統のワクチンというようなことでしたが、正式な名称というのは何というようなワクチンになるのでしょうか。レプリコンワクチンではないのでしょうか。

○相田克平議長 山口健康福祉部長。

○山口恵美子健康福祉部長 私たちのほうに情報として入っておりますのは、先日、市政協議会でも

申し上げましたとおり、JN. 1系統ということでお聞きしているところで、それ以上の情報は今のところないところです。

○相田克平議長 鳥海隆太議員。

○21番（鳥海隆太議員） ちょっとよく聞き取れなかったのですけれども、レプリコンワクチンということで間違いないですかというようにお聞きしたのですが、そのようなことでいいですか。

そして、このレプリコンワクチン、販売名がモダリティワクチンというようなmRNAワクチンというようなことなのですから、もともとこれは日本で開発されたものではないというようなことであります。その開発元の国でも承認されていないワクチンであるというようなことでありますし、世界全体的に見ても日本しか承認されていないというようなことであります。それがレプリコンワクチンというようなことなのですか、レプリコンワクチンというようなことなのでしょうか。

○相田克平議長 山口健康福祉部長。

○山口恵美子健康福祉部長 繰り返しになります。

私たちのほうに情報として入っておりますのは、JN. 1系統というワクチンを使用するということだけになっておりまして、また、承認はされていないということでお聞きしているところでございます。

○相田克平議長 鳥海隆太議員。

○21番（鳥海隆太議員） 意図的にそういうことをおっしゃっているのかちょっと分からないのですけれども、厚生労働省から出されている資料には、しっかりとJN. 1、2024年・25年シーズンに供給するワクチンというように出ています。これは大臣記者会見でも発表されています。その中には、JN. 1のワクチンはレプリコンというように載っております。

私は、何が言いたいかということ、集団接種とは形は違うというようなことなのですから、しっかりとそういうような事実はお伝えしながら、やはり接種に挑んでもらうというようなことが必要なの

ではないかというようなことなのです。知らされていないかということではなくて、実際資料としてもう出ているわけですから、そういうことはちゃんと知らせて、そういうようなワクチンであると。

また、この臨床結果も出ています、その資料に。臨床は1万6,000人で臨床した。ただ、日本国内ではなくて、日本国外の国で臨床実験をしたというようなことです。副反応としていろいろと出されています。こういうことがあったと。例えば、この臨床結果の中で多かったのが倦怠感、44%の倦怠感があったというようなことも報告されています。そういったことはもうちゃんと資料として出ているわけですから、セットでお知らせすべきではないかなど。それがやはり行政としての役割ではないかなどというように思うわけですが、いかがでしょうか。

○相田克平議長 山口健康福祉部長。

○山口恵美子健康福祉部長 大変申し訳ございません。私たちのほうでの知り得ている情報としては、先ほど申し上げましたように、今年の5月29日に国のほうで小委員会で決定されたのが、2024年から25年の秋冬の新型コロナウイルスワクチン接種についてはJN. 1系統の抗原を採用する方針を決定したということまでになっております。

また、各製薬メーカーのほうに確認をさせていただきましたが、国のほうからも現在5社が申請中ということで審議中というような情報しか私たちのほうでは知り得ないところです。

ただ、議員がおっしゃりますように、そのような情報がありましたら、どのようなワクチンを使用するかということに関しましては、広く皆様のほうにはお知らせをさせていただきたいと考えております。

○相田克平議長 ほかに御質疑ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○相田克平議長 なければ質疑を終結いたします。

次に、議員間討議を行います。議員間討議の御希望はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○相田克平議長 なければ議員間討議を終結いたします。

これより討論に入りますが、通告がありませんので、討論を終結し、採決いたします。

お諮りいたします。

議第100号を原案のとおり決するに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○相田克平議長 御異議なしと認めます。

よって、議第100号は原案のとおり決まりました。

.....

閉 会

○相田克平議長 以上で本臨時会に付議されました案件は全部議了いたしました。

これをもちまして令和6年米沢市議会8月臨時会を閉会いたします。

午前10時10分 閉 会